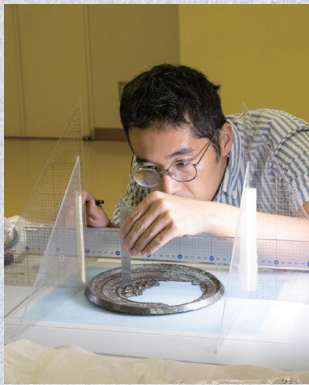




2025年9月30日に島根大学と学校法人桐蔭学園は、教育、研究、地域貢献の分野で連携し、教育の質向上や人材育成を目的とした協定を締結しました。締結式では桐蔭学園の溝上慎一理事長が「幼稚園から高校までの学びを大学へつなげ、社会で活躍する人材育成の大きなきっかけにしたい」と述べました。また、大谷学長は「地方創生や国際社会を支える人材育成において重要な連携であり、都会と地方の良さを相互に経験できる幅広い連携を展開したい」と語りました。今後、桐蔭学園との共同プロジェクトや高大連携事業を通じて、地域の将来を支える優秀な人材育成を共に進めます。

島根大学と学校法人桐蔭学園が包括的連携協定を締結

NEWS 03



法文学部社会文化学科の岩本崇准教授が第37回濱田青陵賞を受賞しました。この賞は、考古学の振興に寄与する顕著な業績を評価するもので、岩本准教授は「三角縁神獣鏡を軸とする古墳編年の構築と地域史の実証的研究」により受賞されました。古墳時代の三角縁神獣鏡に関する徹底した実物観察と資料化を基に、新たな古墳時代史を描き出すとともに、山陰地域の研究や国際的な視点での地域史評価にも取り組んでいます。また、本学で取り組んでいる青銅器文化や金工技術研究の国際的拠点形成においても主導的な役割を果たしており、今後の研究成果が期待されています。授賞式は9月21日に岸和田市で開催されました。

法文学部岩本崇准教授が第37回濱田青陵賞を受賞

NEWS 04



島根大学は、学生起業のベンチャー企業「株式会社ストラテジーA」(代表取締役 中尾香達)に大学発ベンチャーの称号を付与し、報道発表を行いました。同社は人間科学部3年生の中尾氏が長期インターンシップや海外渡航経験を基に起業した企業で、生成AI活用やDX推進のための人材育成研修やツール導入コンサルティングを主な業務としています。島根大学は規則改正により、研究成果や特許に基づかない学生起業も認定可能とし、同社を初の大学発ベンチャーとして認定しました。中尾氏は「山陰地域を生成AIの先進地域となるよう活動を推進する」と抱負を語りました。今後の活躍が期待されます。

「株式会社ストラテジーA」を大学発ベンチャーとして認定

NEWS 05



2025年5月に結成され、本学のSDGsユニットとしても認定されている学生団体「島大すみれ食堂」が、第75回浜風祭にてブース出展し、「紙アカリウム」やスタンプリイなどSDGsについて考える企画を行いました。来場した方々に海のゴミ問題などを知っていただけるよう、ブース内は海をテーマにした装飾で溢れており、また「紙アカリウム」は来場した子どもたちが描いた絵が映像の中を泳ぎ回る企画で、楽しみながらSDGsについて身近に感じる機会となりました。代表の佐藤一喜さん(総合理工学部1年)は、「今後は新たに子ども食堂を設立したい」と熱く夢を語ってくれました。島根大学は主体的に活動する学生を応援しています。

SDGsユニット「島大すみれ食堂」が浜風祭に初参加！

NEWS 06



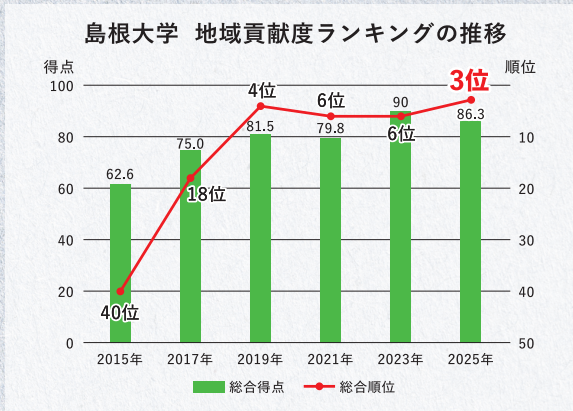
島根大学が全国第3位にランクイン！地域貢献度調査で高評価

NEWS 01



2025年11月3日に発表された「大学の地域貢献度調査」において、島根大学は全国第3位(国立大学では1位)という快挙を達成しました。この調査は、日本経済新聞社が全国777の国公私立大学を対象に地域社会への貢献度を測るもので、497大学からの回答をもとに、「大学の組織・制度」「学生・住民」「企業・行政」「経営・防災」の4分野の得点を合計し、総合ランキングが決定されます。本学は前回調査でも総合6位と高評価を受けていましたが、今回初めてトップ3にランクインし、地域に根ざした大学としての取組が全国的に認められた形となりました。

これまで本学では、地域で活躍する人材を育成する「地域人材育成コース」の設置をはじめ、地域の課題と大学の研究シーズを結びつけて解決を目指す「じげおこしプロジェクト」、地域貢献意欲の高い学生等を対象とした「へるん入試」の導入など、地域との連携を重視した教育・研究活動を展開してきました。さらに今年度からは、地域や国際社会とのパートナーシップ構築を目指す



「SDGsユニット認定制度」を新設し、学生による持続可能な社会づくりへの取組も始まっています。過去の調査結果を振り返ると、2015年には40位だった本学が、この10年で3位まで躍進したことは、地域の皆様と共に歩んできた成果の表れです。今後、島根大学は、「地域に根ざし、地域社会から世界に発信する個性輝く大学」を目指し、地域とともに課題解決に取り組んでまいります。

NEWS 02



島根大学SDGsユニット認定制度を新設

島根大学では、持続可能な社会の構築に向けた新たな取り組みとして、令和7年度より「SDGsユニット認定制度」を創設しました。この制度は、学生や教職員が主体となってSDGsの達成に資する活動を行う団体や個人を「SDGsユニット」として大学が公式に認定するものです。

今年度はまず学生主体ユニットが始動し、地域スポーツの支援・普及やフードバンク支援、環境保全活動、文化継承

など、幅広い分野で活動する15のユニットが認定されました。各ユニットはそれぞれ多様なテーマに取り組んでおり、活動内容に対し高い評価を受けた団体には、大学から支援金が支給される仕組みも整えています。

8月8日にはSDGsユニット認定式が開催され、各ユニットの代表者に大谷浩学長より認定証が授与されました。学長からは「認定されたことを誇りに思い、積極的に活動を広げてほしい」との激励の言葉が贈られました。

さらに、9月26日には学長記者会見が行われ、制度の概要や認定ユニットの活動内容が紹介されました。代表ユニットとして出席した「陸上競技部」「学生FBI」の学生たちは、地域貢献への思いや今後の展望を語り、制度の意義が広く伝えられました。

島根大学では、今後もこの制度を通じて学生や教職員の自主的な社会貢献活動を支援し、地域との連携を深めながら、持続可能な未来の実現に向けた取り組みを推進していきます。